

宇宙開発の次の一手は、“つながり”から始まる  
— SX-ARK Connect & Networking Day を開催 —



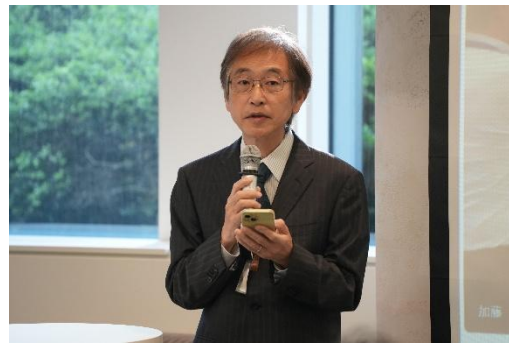
宇宙戦略基金 SX-ARK ロゴマーク

2026年5月11日および12日、SX-ARK Connect & Networking Day を開催しました。文部科学省、JAXA、プログラムオフィサー、採択された実施機関が一堂に会し、宇宙戦略基金第二期 SX-ARK の公募技術領域である「熱とデバイス」および「運動と制御」をテーマに、今後の技術開発の方向性と新たな連携のあり方を共有しました。第二期 SX-ARK では、「熱とデバイス」13件、「運動と制御」18件が採択されており、採択機関は大学、公的機関、企業にまたがり、全国15都道府県に広がっています。さらに、非宇宙分野からの参入も含まれており、多様な知と技術が宇宙分野に集まり始めています。

開会にあたっては、文部科学省 宇宙開発利用課の田淵企画官から、宇宙がもはや「夢」や「憧れ」だけの対象ではなく、人類の現実的な活動領域へと広がりつつあること、そして機器の高性能化が進む中で、熱や制御が今後の宇宙活動を支える重要な技術課題であることが示されました。あわせて、満田プログラムオフィサー（PO）からは、SX-ARK の重要な役割として、宇宙という特殊環境への参入障壁を下げ、コミュニティを拡大すること、さらに将来の宇宙開発利用を見据え、戦略性とユーザー目線を持って研究開発を進めることの重要性が共有されました。



文部科学省 田淵企画官



満田 PO

SX-ARK は、領域内のネットワーキングを通じて、事業構想への発展や我が国の技術基盤の底上げを目指す枠組みとして位置づけられています。JAXA からは、その実現に向けた技術開発マネジメント方針が共有され、個々の技術を磨くだけでなく、それぞれをつなぎ、実装へと発展させていくことの重要性が改めて強調されました。



会場の様子

SX-ARK Connect & Networking Day は、宇宙技術の“今”をつなぎ、“次”を動かすスタート地点です。今後は、技術相談や連携のチャンネルの継続、全体会合、テーマ別の議論の場などを通じて、今回生まれたつながりを継続的な共創へと育てていきます。



熱とデバイス領域



### 運動と制御領域

なお、宇宙戦略基金第三期においても、SX-ARKは公募技術領域を「構造と材料」、「環境と生存」として、8月下旬頃からの公募開始を計画しています。ご関心のある方は、ぜひ今後の情報をご確認いただき、SX-ARKの新たなプレイヤーとして参画をご検討ください。

[【参考情報】宇宙戦略基金第三期 SX-CRANE/ARK 公募開始に関するご案内](#)